

# 2023年度 環境経営レポート

土佐新高建設株式会社

運用期間  
2023年4月～2024年3月

発行日  
2024年6月7日



環境協会  
エコアクション21  
認証番号0005302



優良取組事業所

# 目次

1. 組織の概要	・・・3
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	・・・4
3. 環境経営方針	・・・5
4. 環境管理組織体制	・・・6
5. 環境経営活動への取組の全体概要	・・・7
6. 2023年度環境経営目標・環境経営計画	・・・9
7. 環境経営目標の実績	・・・11
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	・・・15
～2023年度 土佐新高の環境トピックス～	・・・16
9. 次年度の環境経営目標、環境経営計画	・・・19
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	・・・21
11. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	・・・24

# 1, 組織概要

- 事業所名および代表者名 

土佐新高建設株式会社
代表取締役 祇園 和男
- 所在地 

【本社】 〒780-8019 高知県高知市北竹島町490	TEL. 088-832-3931
【幡多営業所】 〒787-1221 高知県四万十市三里1391	TEL. 0880-38-2055
- 環境管理責任者氏名  
及び担当者連絡先 

環境管理責任者氏名	工事部長	吉村直則
連絡先担当者	工事部長	吉村直則
連絡先 TEL: 088-832-3931		
FAX: 088-832-3536		
E-mail: <a href="mailto:n-yoshimura@tosashinko.co.jp">n-yoshimura@tosashinko.co.jp</a>		
- 事業内容 

建設業	(主に 道路、スポーツ施設等の舗装工事)		
建設業許可	許可番号	高知県知事 許可(特一2) 第 6237号	
	許可年月日	令和2年8月10日	
	建設業の種類	土木工事業 とび・土工工事業 石工事業	
		舗装工事業 しゅんせつ工事業	
- 事業規模 

設立	昭和 63年 4月
資本金	2,000万円

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高 (百万円)	842	803	884	664
従業員数 (名)	32	32	35	37
事業所延べ床面積 (m <sup>2</sup> )	295	295	295	295
- 会計年度 

会計年度:	4月～3月
-------	-------

## 2, 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

- 対象範囲（認証・登録範囲）

全社の事業所及び現場

対象事業所

本社：高知県高知市北竹島町490 (常駐：29名)

幡多営業所：高知県四万十市三里1391 (常駐：8名)

事業活動

建設業（土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業）

- レポートの対象期間

2023年4月 ~ 2024年3月

- 環境経営レポートの発行日

2024年6月7日

(次回発行予定日=2024年 6月頃)

- 作成責任者

環境管理責任者 吉村直則





## 3, 環境経営方針

### 環境経営理念

土佐新高建設株式会社は、高知県内を主体に道路等の舗装工事を行っています。  
地球や地域の環境を守り、美しい地球を子供たちに引き継いでいく為、  
事業活動における環境負荷を低減し、継続的改善による環境経営を推進していきます。

### 環境経営方針

- 1) 全部署の従業員に対して、環境経営方針を掲示等により周知させ、環境経営に関する教育を行い、環境保全の重要性を高めるように啓発活動を行います。
- 2) \*重機、車両の燃料使用量の抑制により、二酸化炭素排出量を削減します。  
\*事務所および建設現場で使用する電力使用量の抑制により、二酸化炭素排出量を削減します。  
\*建設作業及び本社業務における廃棄物排出量を削減します。  
\*業務における水使用量を削減します。
- 3) 環境負荷の少ない工事を行います。
- 4) グリーン購入を進め、環境に優しい事業活動を行います。
- 5) 環境関連法規並びに条例を遵守します。
- 6) 環境活動のP・D・C・Aを継続し、持続的に環境への負荷の低減を図ります。
- 7) 「環境経営レポート」を作成し、一般に公表します。

2022年4月18日

土佐新高建設株式会社  
代表取締役

祇園和男

# 4, 環境管理組織体制

## 認証・登録の適用範囲

- ・土佐新高建設株式会社
- ・本社及びその現場
- ・幡多営業所及びその現場

## 代表者

社長 祇園 和男

## 環境管理責任者

吉村 直則

## 本社

二酸化炭素排出量削減 化学物質適正使用 担当	廃棄物排出量削減 松元 孝文	水使用量削減担当 竹村 恵子
山崎 文花	関連法規等 担当 河野 有和	グリーン購入推進担当 現場担当者

## 幡多営業所

二酸化炭素排出量削減 化学物質適正使用 担当	廃棄物排出量削減 関連法規等 担当	水使用量削減担当 朝比奈 ゆみ子
則 公人	則 公人	グリーン購入推進担当 現場担当者

## ●環境経営システム 役割・責任・権限

### 代表者 (社長)

- ・環境経営に関する統括責任。
- ・環境経営システムの実施に必要な 人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
- ・環境管理責任者を任命。
- ・経営における課題とチャンスの明確化
- ・環境経営方針の策定・見直し・指示及び全従業員へ周知。
- ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認。
- ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を承認。
- ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施。
- ・環境経営レポートの承認。

### 環境 管理責任者

- ・環境経営システムの構築、実施、管理。
- ・環境関連法規等の取りまとめ票を確認。
- ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を確認。
- ・環境経営計画の取組結果を代表者へ報告。
- ・環境経営レポートの確認。

### ワーキング グループ

- ・環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局として機能する。
- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。
- ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案を作成。
- ・環境経営計画の実績集計。
- ・環境関連法規等取りまとめ表の作成。
- ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
- ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）

### 部門長

- ・自部門における環境経営システムの実施。
- ・自部門における環境経営方針の周知。
- ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施。
- ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。
- ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。
- ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。テスト、訓練を実施、記録の作成。
- ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。

### 全従業員

- ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。
- ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営計画へ参加。

## 5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

### < 全体概況 >

- 本年度の二酸化炭素の排出量は前年度より削減されており、目標も達成することができました。
- 燃料使用量、廃棄物総排出量、水使用量は年度削減目標値を大きく達成することができました。
- 電力使用量は、本年度は研修や資格試験勉強等で事務所利用時間が多く、目標値を達成することはできなかったものの社員各々が不要な消灯等の節電を心掛けていました。引き続き意識して取り組んでいきます。
- 「こうち環境博2023」に弊社の環境対策工法に関するポスター展示をするなど、環境教育へのかかわりを増やしています。
- 地域の環境美化活動として、本年度はロードボランティア活動（11回）と近隣公園の清掃を実施しております。
- 2024年度環境経営目標より、基準値を2020年から2022年までの実績平均値へと見直し、合わせて目標値を変更しました。

### < 認証・登録 >

#### こうちSDGs推進企業登録

SDGsの達成に向けた取り組みを行っている高知県内事業者について、高知県が登録する制度です。県内事業者による「企業価値の向上」や「多様な人材の確保」などとともに、SDGsの取り組みの裾野を広げることを目的としている。

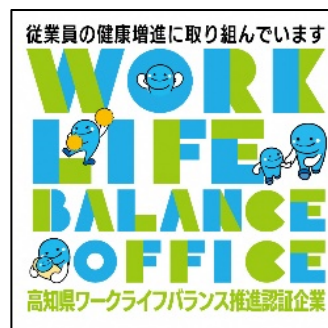


登録番号：36

登録期間：  
令和3年10月22日から  
令和6年10月21日まで

#### 高知県ワークライフバランス推進認証企業

誰もが働きやすく、従業員の方々が働き続けられる職場環境づくりを目指し、「次世代育成支援」「介護支援」「年次有給休暇の取得促進」「女性の活躍推進」「健康経営」に積極的に取り組んでいる企業を県が認証する制度です。



認証部門：  
健康経営部門

認証番号：  
第444号

認証年月日：  
令和3年10月1日



# 5. 環境経営活動への取組の全体概要

## <SDGs達成に向けた経営方針>

弊社の経営理念として『わたしたちは確かなものづくりを通して豊かな社会の実現に貢献します』を掲げています。『確かなものづくり』の言葉には、環境に配慮し安全にかつ社会規範をしっかりと守り、確かな品質のものを社会にお届けするという意味が込められています。この理念は、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、従業員一人一人がこのことを十分認識し、積極的に役割を果たしていくことにより、SDGs達成に貢献していきます。

主な分野	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況
環境/社会/経済	建設工事において排出されるCO2排出量削減	CO2削減率10%削減 (2020:223kgCO2→2030:201kgCO2)	CO2削減率10%削減 (2023年 224.6kgCO2)
環境/社会/経済	工務部門への女性雇用比率の引き上げ	女性雇用比率の増加 (2020年3%→2030年10%)	女性雇用比率 (2023年 3%)
環境/社会/経済	工事における再生材料の使用率の引き上げ	再生材料使用率の増加 (2020年80%以上→2030年90%以上)	再生材料使用率の増加 (2023年 92.2%)

## <当社事業と対応するSDGs>

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



No.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう	○	緑化、植林、間伐材
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう	○	寄付、環境教育



# 6-1. 2023年度環境経営目標

対象期間 2023年4月 ~ 2024年3月

## ● 2023年度 単年度目標

総量の目標値	単位	基準値 ※1	2023年度 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	266,973	253,624 (-5%)
燃料使用量	ガソリン	ℓ	24,387
	軽油	ℓ	74,429 (+2%)
	LPG	kg	5,986 (-30%)
電力使用量※2	kWh	35,300	22,945 (-35%)
産業廃棄物排出量	t	4,393	3,383 (-23%)
一般廃棄物排出量	t	1,500	1,335 (-11%)
水使用量	m <sup>3</sup>	630	435 (-31%)
廃棄物再資源化率 ※3	%	97.7	99.0%以上
グリーン購入	%	74.2	82.0%以上
環境負荷の少ない工事件数割合 ※4	%	100	100

売上高百万円当たりの目標値	単位	基準値 ※1	2023年度 目標
二酸化炭素排出量 (削減率%)	kg-CO <sub>2</sub>	366.0	259.9 (-29%)
燃料使用量	ガソリン	ℓ	23.7 (-26%)
	軽油	ℓ	69.9 (-24%)
	LPG	kg	16.7 (-24%)
電力使用量※2	kWh	49.0	23.0 (-53%)
産業廃棄物排出量	t	5.74	3.50 (-39%)

※1 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※2 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省

- ・経済産業省公表値による。  
四国電力(株) 0.000529 t-CO<sub>2</sub>/kWh  
出光グリーンパワー(株) 0.000 t-CO<sub>2</sub>/kWh

※3 廃棄物再資源化率 = 産業廃棄物再資源化量 / 産業廃棄物総排出量

※4 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・遮熱性舗装の施工

※5 化学物質の使用はありません。

## 6-2. 環境経営計画

対象期間 2023年4月 ~ 2024年3月

2023年度		活動内容	責任者	SDGs	備考
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料 使用量削減	○重機、車両のアイドルストップ	工事担当者	 	作業指示書に記録
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	工事担当者		
		○タイヤの空気圧チェック	工事担当者		
		○タイヤの磨耗チェック、交換	工事担当者		
		○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者		
	電力 使用量削減	○昼休み・帰宅時の消灯	総務課長	 	3か月毎、契約工場にて点検を受ける。
		○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)	総務課長		
		○空調機の温度設定(夏28℃、冬20℃)	総務課長		
		○不使用時のパソコンの電源OFF	総務課長		
		○不使用时のパソコンの電源OFF	総務課長		
水使用量削減 (排水量削減)		○食器等のまとめ洗い	総務課長	 	
		○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	総務課長		
廃棄物 削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	総務課長	 	集計表に計量値を記録 再利用できる紙は所定の置き場に置く。
		○コピー用紙の裏紙使用	総務課長		
		○両面コピー、縮小コピーの実施	総務課長		
		○印刷前の書類の文書確認の徹底	総務課長		
	産業廃棄物	○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	工事担当者	 	
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者		
		○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者		
		○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者		
グリーン購入		○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	総務課長	 	
		○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事部長		
		○設計・見積り時に再生材料を選定する。	工事部長		
環境負荷の少ない工事実施		○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者	 	工期の短い工法への変更も検討する。 県工事は工事毎県へ報告
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者		
		○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者		
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者		

※ 化学物質の使用はありません。

# 7-1. 環境経営目標の実績(単年)

対象期間 2023年4月 ~ 2024年3月

※ 達成率 = (目標値/実績値)\*100 (%)

(数値が100以上であればより削減できたことを表し、100未満であれば目標値に達しなかった事を表します。)

※ 実測値の ( ) の数値は基準値に対する削減比率です。

※ 基準値は、2012年度~2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※ グリーン購入の目標値は、当社の主たる事業活動である舗装工事において使用する砕石とAs. 合材の再生材料の使用率とすることに改めた。

## 各項目の総量の実績

項目	単位	2012年度~2014年度 基準値	2023年度 目標値	2023年度 実績値	達成率 (%)	実績費用 (万円)	単価 (円)	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	266,973	253,624 (-5%)	149,160 (-44.1)	170	864	58	
燃料 使用量	ガソリン	ℓ	24,387	24,143 (-1%)	18,388 (-24.6)	131	305	166
	軽油	ℓ	72,970	74,429 (+2%)	36,101 (-50.5)	206	413	114
	LPG	kg	8,551	5,986 (-30%)	2,182 (-74.5)	274	63	289
電力使用量	kWh	35,300	22,945 (-35%)	27,596 (-21.8)	83	83	30	
廃棄物総排出量	t	4,393	3,383 (-23%)	1,997 (-54.5)	169	347	1,738	
一般廃棄物排出量	t	1.500	1.335 (-11%)	0.843 (-43.8)	158			
水使用量	m <sup>3</sup>	630	435 (-31%)	341 (-45.9)	128			
廃棄物再資源化率	%	97.7	99.0 以上	99.9	102			
グリーン購入	%	74.2	81.0 以上	92.2	112			
環境負荷の少ない工事件 数割合 ※1	%	100	100	100	100			

■ =目標を達成した項目

■ =目標を達成しなかった項目

※1 廃棄物再資源化率 = 産業廃棄物再資源化量 / 産業廃棄物総排出量

※2 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・遮熱性舗装の施工

※ 集計の詳細は、「環境への負荷の自己チェック」による。

※3 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省

- ・経済産業省公表値による。

四国電力㈱ 0.000529 t-CO<sub>2</sub>/kWh

出光グリーンパワー㈱ 0.000 t-CO<sub>2</sub>/kWh

※ 化学物質の使用はありません。

## 各項目の原単位(売上高百万円)当りの実績

項目	単位	2012年度～2014年度 基準値	2023年度 目標値	2023年度 実績値	達成率 (%)	実績値 -基準値	利益 (円) ※1
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	366.0	263.5 (-28%)	224.6 (-38.6)	116	-141.40	8,191
燃料 使用量	ガソリン	ℓ/百万円	32.0	24.0 (-25%)	27.7 (-13.4)	86	
	軽油	ℓ/百万円	92.0	70.8 (-23%)	54.4 (-40.9)	128	
	LPG	kg /百万円	22.0	16.9 (-23%)	3.3 (-85.0)	506	
電力使用量	kWh/百万円	49.0	23.5 (-52%)	41.6 (-15.1)	55		
廃棄物総排出量	t/百万円	5.74	3.56 (-38%)	3.0 (-47.6)	116	-2.73	-4,744

## &lt;実績の総括&gt;

- 本年度は総二酸化炭素排出量の削減目標を達成することができていた。しかし電力使用量は目標達成することが出来ていなかった。また、基準として想定していた売上高(960百万円)に対して、本年度は売上高が664百万円と少なく、比例して百万円当たりの割合のガソリン使用量、電力使用量の項目で目標達成することが出来ていなかった。
- 未達成項目・理由
  - 電気使用量・割合… 今年度は現場のない期間に事務所内での研修や資格試験勉強等の時間が多く、エアコン等の利用が増えたため、目標達成できなかった。
  - ガソリン使用割合… ガソリン使用量の目標値は達成されていたが、当年度の売上高が少なかったために使用割合において目標達成できなかった。

## &lt;実績からコストへ&gt;

- 当年度の二酸化炭素排出量及び廃棄物総排出量の目標値は達成することができなかったが、基準値に対しては削減されており、コスト計算は下記ようになります。
 

当年度の売上高・・・ **664** (百万円)

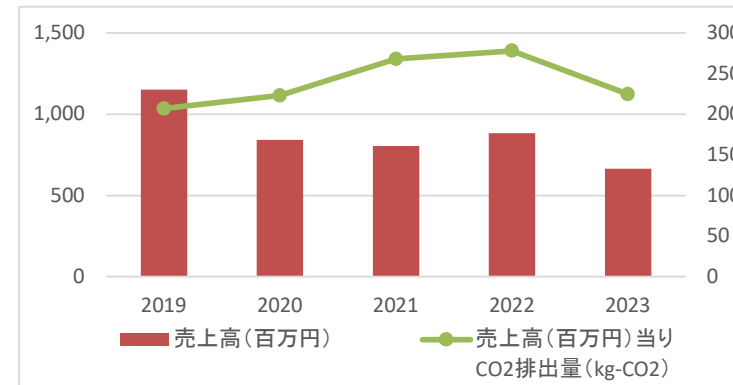
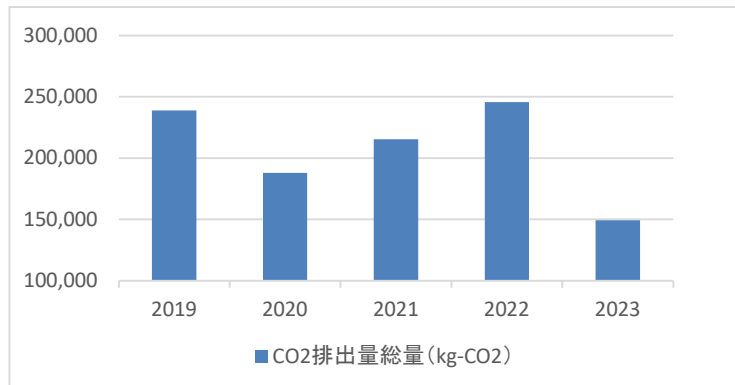
※1 売上高百万円当たりの利益とは、各項目の(本年度実績値-基準値)\*単価により算出しました。  
単価は、前ページの各項目の実績に要した費用に対する単価です。
- 二酸化炭素排出量及び廃棄物排出量の削減の環境活動により、基準値に対し売上高百万円当たりでは、  
**8,191** + **4,744** = **12,935** 円 となっております。
- 当年度の売上884百万円あたりでは、同じ売上高で排出割合が基準値だった場合に比べて、  
**12,935** × **664** = **8,588,840** 円 のコストダウンをしたこととなります。(昨年度は6,602,596円)



## 7-2. 環境経営目標の実績（過去5年の実績）

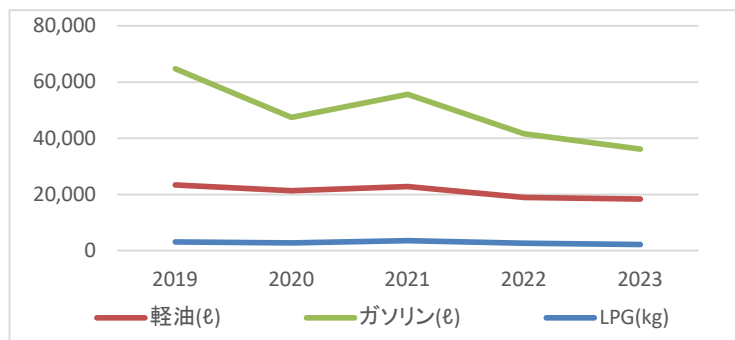
### ●二酸化炭素総排出量、売上高及び原単位あたりの二酸化炭素排出量

項目	基準値※1	2019	2020	2021	2022	2023
CO <sub>2</sub> 排出量総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	266,973	238,789	187,815	215,371	245,515	149,160
売上高 (百万円)	960	1,152	842	804	884	664
売上高 (百万円) 当り CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	366	207	223	268	278	225



### ●燃料使用量

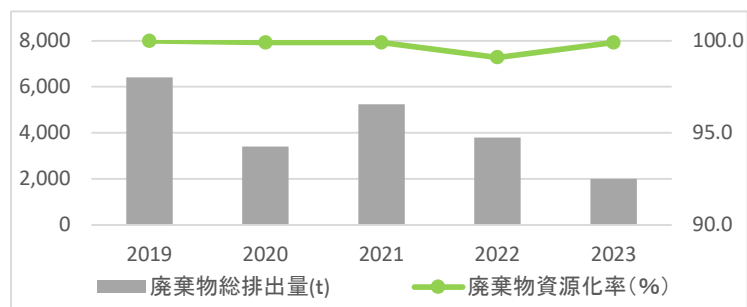
項目	基準値※1	2019	2020	2021	2022	2023
燃料使用量	軽油 (ℓ)	24,387	23,406	21,349	22,813	18,388
	ガソリン (ℓ)	72,970	64,754	47,384	55,611	36,101
	LPG (kg)	8,551	3,188	2,821	3,608	2,182



※1  
2012～2014年度の平均値を  
基準値とする。

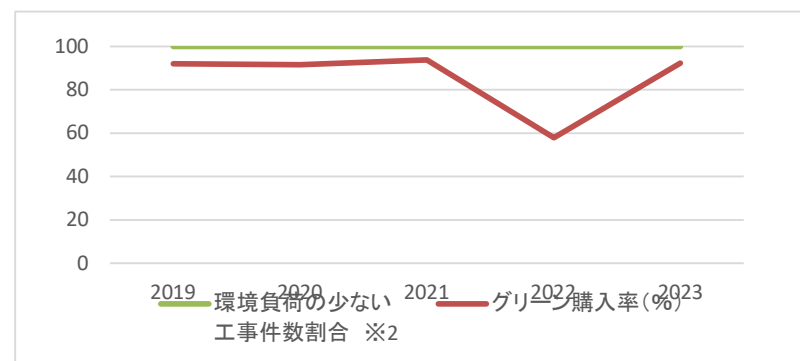
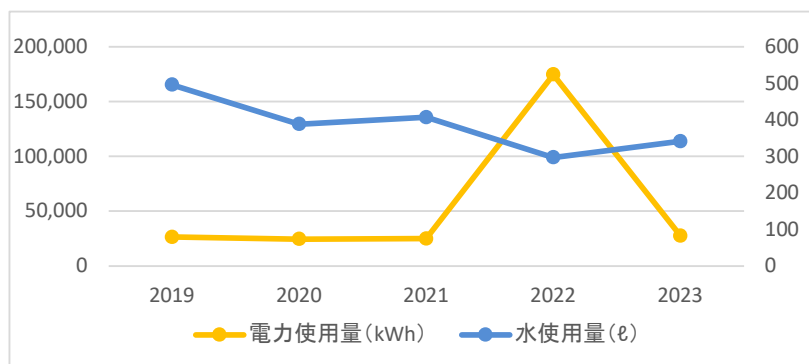
●廃棄物排出量、廃棄物資源化率

項目	基準値※1	2019	2020	2021	2022	2023
一般廃棄物排出量(t)	1,500	1,264	0,917	1,303	0,935	0,843
廃棄物総排出量(t)	4,393	6,406	3,404	5,242	3,789	1,997
廃棄物資源化率(%)	97.7	100.0	99.9	99.9	99.1	99.9



●電気、水使用量、グリーン購入率、環境負荷の少ない工事件数割合

項目	基準値※1	2019	2020	2021	2022	2023
電力使用量(kWh)	35,300	26,501	24,566	24,978	174,634	27,596
水使用量(ℓ)	630	496	388	407	297	341
グリーン購入率(%)	74.2	91.9	91.5	93.7	57.9	92.2
環境負荷の少ない工事件数割合 ※2	100	100	100	100	100	100



※1 2012～2014年度の平均値を基準値とする。

※3 化学物質の使用はありません。

※2 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- 再生砕石、再生合材の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 施工日数を短縮する検討
- 型枠、工事看板への間伐材の使用
- 遮熱性舗装の施工

# 8. 環境経営計画の取組結果とその評価

対象期間 2023年4月 ~ 2024年3月

	活動内容	責任者	四半期評価				取組結果	見直し		
			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月				
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料 使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	工事担当者	○	○	○	○	作業指示書により工事ごとに日々確認されていた。	取組を継続する。	
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	工事担当者	○	○	○	○			
		○タイヤの空気圧チェック	工事担当者	○	○	○	○			定期点検の実施がされている。
		○タイヤの磨耗チェック、交換	工事担当者	○	○	○	○			
	電力 使用量削減	○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者	○	○	○	○	前日の段取りにより車使用を削減できた。		
		○昼休み・帰宅時の消灯	総務課長	○	○	○	○	各自、節電に取り組むことができていた。		
		○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)	総務課長	○	○	○	○			
○空調機の温度設定(夏28℃、冬18℃)	総務課長	○	○	○	○					
水使用量削減 (排水量削減)	○不使用时のパソコンの電源OFF	総務課長	○	○	○	○	節水に取り組むことができていた。	節水の取組を継続する。		
	○食器等のまとめ洗い	総務課長	○	○	○	○				
廃棄物削減	一般廃棄物	○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	総務課長	○	○	○	○	排水量削減に取り組むことができていた。	引き続き、処分のルールに従って活動する。	
		○ゴミの分別徹底	総務課長	○	○	○	○			
		○コピー用紙の裏紙使用	総務課長	○	○	○	○			
		○両面コピー、縮小コピーの実施	総務課長	○	○	○	○			
	産業廃棄物	○印刷前の書類の文書確認の徹底	総務課長	○	○	○	○	排出量の削減ができていた。		
		○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	工事担当者	○	○	○	○			
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者	○	○	○	○			
グリーン購入	○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者	○	○	○	○	マニフェストを利用し、適切な運搬・処理がされていた。			
	○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者	○	○	○	○				
	○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	総務課長	○	○	○	○				
環境負荷の少ない 工事実施	○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事部長	○	○	○	○	グリーン購入及び再生材料の選定・購入が行われていた。	取組を継続する。		
	○設計・見積り時に再生材料を選定する。	工事部長	○	○	○	○				
	○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者	○	○	○	○				
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者	○	○	○	○				
環境負荷の少ない 工事実施	○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者	○	○	○	○	すべての弊社元請け工事にて、意識、実行することができた。	取組を継続する。		
	○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者	○	○	○	○				

※ 化学物質の使用はありません。

## 非常事態訓練

現場での火災発生や油漏れを想定して、非常事態訓練を行いました。

12 つくる責任  
つかう責任



15 陸の豊かさも  
守ろう



事業 令和5年度 ロードボランティア

清掃状況

25年10月2日 土佐新発株式会社



事業 令和5年度 ロードボランティア

清掃状況

## ロードボランティア

地域環境の向上を目指して、道路の美化清掃活動を行っています。

11 住み続けられる  
まちづくりを



15 陸の豊かさも  
守ろう









## 再生可能エネルギーの利用

本社事務所の電気は、再生可能エネルギー100%の出光グリーンパワーを利用しています。



## こうち環境博2023 展示参加

こうち男女共同参画センター「ソーレ」にて行われた、SDGs環境にやさしい企業・団体展に環境工法ポスターの展示で参加しました。



# 9-1. 次年度の環境経営目標

## ○総量の目標値

	単位	基準値 ※1	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	216,419	214,255 (-1%)	212,091 (-2%)	209,926 (-3%)	207,762 (-4%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	21,038	20,828 (-1%)	20,617 (-2%)	20,407 (-3%)	20,196 (-4%)
	軽油	ℓ	48,217	47,735 (-1%)	47,253 (-2%)	46,770 (-3%)	46,288 (-4%)
	LPG	kg	3,095	3,064 (-1%)	3,033 (-2%)	3,002 (-3%)	2,971 (-4%)
電力使用量※2	kWh	74,726	73,979 (-1%)	73,231 (-2%)	72,484 (-3%)	71,737 (-4%)	
廃棄物総排出量	t	4,145	4,104 (-1%)	4,062 (-2%)	4,021 (-3%)	3,979 (-4%)	
一般廃棄物排出量	t	1,050	1,040 (-1%)	1,029 (-2%)	1,019 (-3%)	1,008 (-4%)	
水使用量	m <sup>3</sup>	368	364 (-1%)	361 (-2%)	357 (-3%)	353 (-4%)	
廃棄物再資源化率 ※3	%	99.6	99.0以上	99.0以上	99.0以上	99.0以上	
グリーン購入	%	80.0	82.0以上	83.0以上	84.0以上	85.0以上	
環境負荷の少ない工 事件数割合※4	%	100	100	100	100	100	

## ○原単位当たりの目標値(売上百万円あたり)

	単位	基準値 ※1	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標	
二酸化炭素排出量 (削減率%)	kg-CO <sub>2</sub>	256.0	253.4 (-1%)	250.9 (-2%)	248.3 (-3%)	245.8 (-4%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	25.0	24.8 (-1%)	24.5 (-2%)	24.3 (-3%)	24.0 (-4%)
	軽油	ℓ	58.0	57.4 (-1%)	56.8 (-2%)	56.3 (-3%)	55.7 (-4%)
	LPG	kg	4.0	4.0 (-1%)	3.9 (-2%)	3.9 (-3%)	3.8 (-4%)
電力使用量※2	kWh	86.0	85.1 (-1%)	84.3 (-2%)	83.4 (-3%)	82.6 (-4%)	
廃棄物総排出量	t	4.95	4.9 (-1%)	4.85 (-2%)	4.80 (-3%)	4.75 (-4%)	

・・・今年度目標

※1 基準値は、2020年度～2022年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※2 購入電力の調整後排出係数は、令和5年7月18日環境省・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0.000532 t-CO<sub>2</sub>/kWh  
出光グリーンパワー(株) 0.000 t-CO<sub>2</sub>/kWh

※3 廃棄物再資源化率=産業廃棄物再資源化量/産業廃棄物総排出量

※4 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・遮熱性舗装の施工
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用

※5 化学物質の使用はありません。



## 9-2. 次年度の環境経営計画

対象期間：2024年4月～2025年3月

2024年度		活動内容	責任者	SDGs	備考
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料 使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	工事担当者	 	作業指示書に記録
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	工事担当者		
		○タイヤの空気圧チェック	工事担当者		
		○タイヤの磨耗チェック、交換	工事担当者		
	電力 使用量削減	○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者		3か月毎、契約工場にて点検を受ける。
		○昼休み・帰宅時の消灯	総務課長		
水使用量削減 (排水量削減)	○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)	○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)	総務課長	 	
		○空調機の温度設定(夏28℃、冬20℃)	総務課長		
	○不使用時のパソコンの電源OFF	総務課長			
廃棄物削減	一般廃棄物	○食器等のまとめ洗い	総務課長	 	
		○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	総務課長		
		○ゴミの分別徹底	総務課長		
		○コピー用紙の裏紙使用	総務課長		
	産業廃棄物	○両面コピー、縮小コピーの実施	総務課長	 	集計表に計量値を記録 再利用できる紙は所定の置き場に置く。
		○印刷前の書類の文書確認の徹底	総務課長		
		○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	工事担当者		
グリーン購入	産業廃棄物	○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者	 	
		○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者		
		○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者		
環境負荷の少ない工事実施	グリーン購入	○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	総務課長	 	
		○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事部長		
		○設計・見積り時に再生材料を選定する。	工事部長		
環境負荷の少ない工事実施	環境負荷の少ない工事実施	○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者	 	工期の短い工法への変更も検討する。 県工事は工事毎県へ報告
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者		
		○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者		
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者		

※ 化学物質の使用はありません。



# 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

## ●当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況（法規）

対象期間

2023年4月 ～ 2024年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	最新版確認日	遵守状況	遵守評価日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	松元	2024/4/16	遵守	2024/4/16
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	松元	2024/4/16	遵守	2024/4/16
	第12条の10、11項	○多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	松元	2024/4/16	遵守	2024/4/16
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	松元	2024/4/16	遵守	2024/4/16
	第12条の三七項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	松元	2024/4/16	遵守	2024/6/30予定
	第14条 第14条の一 12項	○産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新） ○産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分表示、書面備付義務	期限切れ 3ヶ月前	松元	2024/4/16	遵守	2024/4/16
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	松元	2024/4/16	該当なし	2024/4/16
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	松元	2024/4/16	遵守	2024/4/16
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	松元	2024/4/16	遵守	2024/4/16
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m <sup>2</sup> 以上 新築・増築：床面積500m <sup>2</sup> 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	松元	2024/4/16	遵守	2024/4/16
騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16

(10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無)

●当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況 (法規)

対象期間

2023年4月 ~ 2024年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	最新版確認日	遵守状況	遵守評価日
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	河野	2024/4/16	該当なし	2024/4/16
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	河野	2024/4/16	該当なし	2024/4/16
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条 第5条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO <sub>2</sub> -t/年以上、事業所所管大臣への報告 ○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵機器、冷凍機：7.5kW以上 ○簡易点検の実施	年1回  1回/3年 1回/年 1回/年 1回/3ヶ月	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、排水渠等の設置	必要時	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16
水質汚濁防止法	第12条	○事業所排出口における排水基準に適合しない排水水の排出制限	必要時	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16
	第14条の四	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止のための必要な措置の実施	必要時	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	第4条 第17条 第18条	○事業者及び使用者の責務 特定特殊自動車排出ガスによる大気汚染の防止 ○使用の制限 基準に適合した特定特殊自動車の使用 ○技術基準適合命令 必要な整備を行う	必要時	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16

●環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (法規)

今期、2023年4月1日～2024年3月31日まで、当社の業務に対する環境上の苦情はありませんでした。  
環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

(10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無)

●環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 (条例)

対象期間

2023年4月 ~ 2024年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	最新版確認日	遵守状況	遵守評価日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16
高知市公害防止条例	第24条	○特定建設作業実施届出書の作成・提出	必要時	河野	2024/4/16	遵守	2024/4/16
高知市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	河野	2024/4/16	該当なし	2024/4/16
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	増田	2024/4/16	遵守	2024/4/16
四万十市四万十川の保全及び振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、ソーチライト照明等の設置	必要時	増田	2024/4/16	遵守	2024/4/16
幡多西部消防組合火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	増田	2024/4/16	該当なし	2024/4/16

●環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (条例)

今期、2023年4月1日~2024年3月31日まで、当社の業務に対する環境上の苦情はありませんでした。

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

# 1 1. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

## 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

様式 KY-006-1

代表取締役

祇園 和男

見直しに必要な情報				代表取締役による見直し・指示	
(環境管理責任者による報告) 報告日： 2024年5月31日				(変更の必要性の有無・指示事項) 2024年5月31日	
[取組状況の評価結果]				[環境経営方針]	
①関連法規等の遵守状況 環境関連法規等への違反、訴訟はありませんでした。				今期、環境経営方針は変更しない。	
②問題点の是正処置状況 今期内での問題点の是正はありませんでした。				変更の必要性： 有 (無)	
③前回までの社長の指示事項への対応 本年度も環境活動をコストに置き換えた数値を計算しております。				[環境経営目標・環境活動計画]	
④月間実績値が年間月平均値の3割より増えているエネルギー項目とその理由 ガソリン：遠方の現場がある際に車移動距離が増え、ガソリンの使用が増加した。 軽油：工事増加により重機の利用が増え、軽油の使用量が増加した。 LPG：表層工の増加によりスクリード加熱の時間が増えたため、ガスの使用量が増加した。				引き続き環境活動の継続と、売上高の確保の両面から環境経営実績の向上を図ること。	
2023年度の活動実績は下記のとおりです。				[環境管理実施体制]	
[目標・環境活動計画の達成状況]				実施体制は十分に機能しており、現時点で変更の必要性はない。	
目標項目	目標値達成状況	環境活動達成状況	コメント		
二酸化炭素削減	○	○	今年度は目標値より削減出来ています。	変更の必要性： 有 (無)	
廃棄物削減	○	○	今年度は目標値より削減出来ています。	[環境経営システムの各要素]	
節水	○	○	今年度は目標値より削減出来ています。	現在使用している基準値(2012~2014)が古いため、2020~2022年の実績数値より、基準値と目標値の見直しを行うこと。	
グリーン購入	○	○	今年度の工事における再生材料の使用は92.2%で、目標達成出来ています。	現場移動の際は乗り合わせを行い、可能な限りハイブリット車を優先して使用し、燃料使用量を減らすこと。	
化学物質	○	○	今期に化学物質の使用はありませんでした。	変更の必要性： (有) 無	
[周囲の変化の状況]					
①外部コミュニケーション記録より 本社、幡多とも苦情はありませんでした。					
②環境関連法規等の改訂動向 今期、当社の事業に関する環境関連法規制等の改定はありませんでした。					

### 社長の指示を受けての是正内容

2024年度環境経営システムより基準値、目標値の見直しを行います。  
引き続き乗り合わせ及びNET活用による車使用の無駄を減らし、環境負荷の低減を進めます。

環境管理責任者 吉村 直則